

## 平成24年第7回（11月）瀬戸内市議会定例会

### 教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

#### ○ おかやま教育週間について

岡山県では、毎年11月1日から7日までをおかやま教育週間として、学校、家庭、地域社会が一体となって地域の子どもは地域で育てるという機運を盛り上げていこうとしています。本市でも、この期間に合わせ、11月1日、2日を教育の日として、幼稚園、小学校、中学校で様々な取組が行われました。

主な取組としては、この日を学校公開日として、保護者、地域の方に子どもたちの活動や授業を自由に見ていただいたり、講演会やコンサートを開催したり、地域のお祭りを一緒に実施したりと、学校・園でそれぞれ工夫を凝らした取組が行われました。その結果、この日に市内の幼稚園、小学校、中学校を訪問してくださった方は、延べ約3,150人に上りました。今後もさらに学校、家庭、地域が一体となって子どもたちを育てていけるよう、学校・園に地域の方がかかわっていただける体制づくりに努めていきたいと考えています。

#### ○ 交通事故防止について

昨年度の小・中学生の交通危険度ランキングで瀬戸内市がワーストと

なりましたことを大変重く受け止めています。この結果を受け、各学校園に対し、交通事故防止に向けた取組の徹底について繰り返しお願いをしてきました。現在、昨年度の同時期と比べ、事故件数は半減しています。しかしながら、登下校中における中学生の自転車事故は増加しており、予断を許さない事態であると認識しています。今後とも、瀬戸内警察署を始めとした関係機関や保護者、地域の方々の協力を仰ぎながら、子どもを交通事故から守るための取組を一層強化していきます。

#### ○ 図書館運営及び新図書館整備について

図書館運営についてですが、保育園、幼稚園への移動図書館サービスが1年経過したことを踏まえ、保育士、幼稚園教諭にアンケート調査を行いました。結果を見ますと、子どもたちはとても移動図書館を楽しみにしており、絵本への親しみが増したことや、家庭でも絵本を読んであげる機会が増えたということ、また、保育士なども、子どもたちに絵本を読んであげる機会が増えたとの回答が寄せられました。

新図書館整備についてですが、市民のみなさまのご意見を伺う機会として、第5回「としょかん未来ミーティング」～振り返り編～を、10月25日から11月8日にかけて、牛窓、邑久、長船の各地域で開催しました。

今回は、これまでの図書館整備検討に係る議論の経緯や、現図書館の運営改善も含めた説明、また、郷土資料展示機能についての方針を説明した後、ご質問を含めたフリートークとし、参加者の皆さん同士の意見交流もしていただくことができました。

また、11月16日、17日には、「としょかん未来ミーティング」～

子ども編〜としまして、小学生から高校生を対象に新図書館でやってみたいこと、受けたサービスについて意見交換をしました。非常に活発な意見交換が行われ、子どもたちの想いを聞くことができました。

なお、このミーティングについては、13人の中学生、高校生が企画運営委員の公募に応じ、進行構成やアンケート調査企画など、具体的なアイデアを出し合い、プランをまとめてくれました。

#### ○ 博物館・美術館特別展・企画展の開催について

博物館では10月1日から特別展「第7回お守り刀展覧会」を開催し、全国で活躍している現代刀匠のお守り刀46点のほか、人間国宝の刀匠、金工師の作品を合わせて展示しています。また、来年2月6日からは全国屈指の名刀コレクションのある林原コレクションの内備前長船で作られた鎌倉時代から現代刀匠の「長船物」のみを展示する特別展を予定しています。この特別展では国宝長光の太刀をはじめ重要文化財の名刀38点を展示し聖地・長船を紹介していきます。

次に、10月1日に開館2周年を迎えた美術館では、10月6日から8日に記念事業として市民無料開放を行い、363人の市民の来館がありました。

現在、絵手紙交流を続けてきた俳優緒形拳と絵手紙作家・小池邦夫の絵手紙を展示する「緒形拳からの手紙と小池邦夫・師友16人展」を11月17日から12月16日まで開催しています。また、祖父と母が長船町福岡生まれで佐竹徳画伯と交流があり、現在パリで活動中の大倉道昌画伯の作品を展示する「佐竹徳と大倉道昌展」や7メートル四方の床面に塩を用いて制作される作品を展示する企画展も予定しています。

文化・芸術活動の成果を発表する場としてのギャラリーでは、昨年に引き続き市内小学生の作品約200点の図画作品を展示する「瀬戸内市児童絵画展」のほか「第9回瀬戸内市中学校拡大美術展」などを開催します。

10月27日に開催された牛窓オリーブ収穫祭におきまして、佐竹画伯がアトリエとして使用していた通称「赤屋根」の特別公開がありました。美術館と美術館オリーブ会が企画・運営し、オリーブ園からの絵手紙・イラストコンテストなどを開催し、多くの方にご来場いただき、美術館や佐竹画伯を周知することができました。またコンテストで集まった絵は、「緒形拳からの手紙と小池邦夫・師友16人展」の期間中、美術館に展示しています。

○ 第67回国民体育大会他全国・世界レベルの大会への出場について

9月19日に市役所大会議室で、第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」の瀬戸内市激励会を開催し、市内在住の13名の選手・監督を各競技の県代表としてお送りしました。セーリング競技7名、ボート競技1名、体操競技1名、バスケットボール競技1名、バドミントン競技1名、フェンシング競技1名、ウェトリフティング競技1名の選手たちは、『輝けはばたけ だれもが主役』のスローガンの下、競技を懸命にがんばり、健闘しました。そして、全国から参加した他都道府県の選手たちとスポーツを通じて交流を深めました。

11月4日に行われた第38回スポーツチャンバラ世界選手権大会では、長船地区在住の日本代表選手が国別対抗団体戦と個人戦においてともに優勝するという快挙を達成しました。

ジュニアオリンピック陸上競技大会が10月26日に横浜市の日産スタジアムで開催され、邑久中学校から2名が県代表として参加し、懸命にがんばり健闘しました。また、ジュニアオリンピックカップ2012・全日本卓球選手権大会が、11月16日に埼玉県越谷市において開催され、邑久地区在住中学生が県代表として参加しました。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成24年11月29日

瀬戸内市教育委員会

教育長 山崎 宗則